



お話の学習指導案



教育目標

題名

・ こんごうさんのけんぶつにいったカワウソ

年齢

・ ようじ(3~5さい)

主題

- ・ もくひょう:トラをしりぞけたカワウソのかしこさをならう。
- ・ しゅだい:ちえ

キーワード

- ・ ハンラさん, こんごうさん, カワウソ, うさぎ, トラ, ちえ, りょうこ, こくどおうだん(国土横断)

韓国文化

- ・ もくひょう:だいかんみんこくのハンラさんとこんごうさんについてしらべて、きょうみをもつ。
- ・ ようそ:ハンラさん、こんごうさん、こくどおうだん(国土横断)

韓国語

- ・ もくひょう:きょうみをもっておはなしをきいて、ぎたいごとぎせいごのひょうげんををしり、それらをたのしむ。
- ・ たんご:두루두루(くまなく)、찌렁찌렁(がんがんと)
- ・ ひょうげん:
두루두루 구경했어요.(くまなくけんがくしました。)
찌렁찌렁 울렸어요.(가ん가んとひびきました。)



口演 活動内容



ごあいさつ

おへそにお手てをあてて、こんにちは！
みなさん、こんにちは。わたしはみなさんにたのしいお話を‘○○○’、
うつくしいお話のおばあちゃんです。



題名 を教える

きょう、おばあちゃんがするおはなしは、タイトル、さっさとでてこい！
“こんごうざんのけんぶつにいったカワウソ”です。

みなさん、‘こんごうざん’をきいたことはありますか？そうですね。こうげん
どうにあるこんごうざんは、けしきがうつくしいことでゆうめいです。きたちよ
うせんにあるので、いまはいけません、おばあちゃんがかならずいつてみた
いやまです。いつかは、みなさんもこんごうざんをけんぶつできたらいいいす
ね。みなさん、カワウソはわたしたちよりさいしょにけしきのいいこんごうざん
にけんぶつにいったそうです。いっしょにおはなしをきいてみましょうか？



お話の始まりの歌を歌う

“こんごうざんのけんぶつにいったカワウソ”のおはなしのなかへしゅっぱつ！
♪ いち にい さん し！ お話のはじまり！ わたしたちみんなが たのしく、よくきい
てみましょう。 みみはピンと、めはきらっと、じゅんぴはできましたか？
いち にい さん し！ しゅっぱつします。パンパン～

口演 活動内容



お話を聞かせる

むかし、チェジュとうのハンラさんのたにに、カワウソがすんでいました。しかし、7ねんもひでりがつづいたために、たべるものがなくなってしまいました。どうしようもなくなって、カワウソはチェジュとうをたびだち、こうげんどうのこんごうざんにいきました。

“うあ、ここはたべるものがおおくて、けしきもとてもきれいだな。”

カワウソはおなかいっぱいにつけて、あのみね、このみねにあがってくまなくけんぶつしました。

あるひ、あるみねにあがって、やまのしたをみおろしていました。しかし、そのやまのしたでは、トラいっとうがザリガニをくわえながら、のぼってくるではありませんか？そのようすをみたカワウソはぎくっとして、こわくなりました。

“たいへんだ！トラがここまであがってきたら、ぜったいにわたしをたべるだろうに、どうしたらいいんだ？”

にげてもぜったいにたべられるんだから、どこかににげることもできませんでした。だから、カワウソはわるぢえをだしました。やまががんがんひびくほど、おおきなこえでさけびました。

“トラくん！”

口演 活動内容



お話を聞かせる

ザリガニをつかまえていたトラは、とてもおどろいて、へんじをしました。

“はい、どなたですか？”

そしたら、カワウソはまたおおきなこえでいいました。”よくきた。このこんごうざんにいるトラはわたしがみんなたべたから、いっとうもいないとおもっていた。しかし、おまえがのこっていたのだな。すぐにこっちにあがってこい。わたしがついでにたべてやるぞ。”

そのこえをきいたトラは、こわがってしまって、いちもくさんににげていきました。

しばらくにげていたら、うさぎにあいました。

“あ？トラさん！どうしてあわててにげているのですか？”

“うさぎくん、たいへんなんだ！あのやまのみねで、だれかがわたしをたべようとするから、こうやってにげていたのだ。”

トラがこわくてぶるぶるとふるえながらはなしていると、うさぎがわらっていいました。

口演 活動内容



お話を聞かせる

“ははは！トラさん、それはちがいますよ。チェジュとうにすんでいたカワウソが、たべものをさがしにここにきたそうです。そのカワウソが、どうやってトラさんをたべるんですか？”

しかし、トラはうさぎのことばをしんじられませんでした。

“そんなことをいうな。まさか、カワウソがあえてわたしをたべるぞと、おおごえをだすか？ぜったいにこわい、やまのけものがわたしをまっているんだ。”

トラはまた、にげようとしてしました。

“トラさんはやまのおうではないですか。どうして、そんなにこわがるんですか？しんぱいしないでください。わたしのしっぽとトラさんのしっぽをむすんで、いっしょにいきましょう。”

うさぎはトラをうまくなだめました。

“わかった。そしたら、うさぎくんがまえにでて、いこうぜ。”

おたがいのしっぽをむすんで、トラはしかたなくうさぎについて、カワウソがいるところまであがっていきました。

口演 活動内容



お話を聞かせる

そのいっぽうで、カワウソはトラをおいだして、‘もうだいじょうぶだ’と、あんしんしているところでした。しかし、うさぎとトラが、みねをあがってきているではありませんか。

“これはどうしたら、こんどはほんとうに、しんでしまう。”

よくかんがえたカワウソは、もういちどわるぢえをだして、おおきなこえでいいました。

“うさぎくん！ありがとう。わたしのおじいさんのときは、しんだトラのかわが、1000まいもできたよ。しかし、こんどはいきているトラをおまえのしっぽにむすんで、つれてきてくれたのか。すぐにこっちにこい！”

このこえをきいたトラは、こわくていちもくさんにせをむけて、はしりだしました。とてもおどろいたうさぎが、いそいでいいました。

“トラさん、トラさん！ちょっとまって、ちょっとまってください！”

トラはおこってさげびました。

“このわるいうさぎめ！おまえがわたしをだまして、あいつにあげようとしたんだな。”

口演 活動内容



お話を聞かせる

はなしおえたトラは、うしろもふりかえらず、ぱつとにげていきました。

そのせいで、うさぎはなにがなんだかわかりませんでした。トラがとてもはやくにげたので、うさぎはとうていおいつくことができませんでした。それでうさぎのしっぽが、‘ぽと’とおちてしまったそうです。そのときから、うさぎのしっぽはみじかくなり、トラのしっぽはうさぎのしっぽがついてながくなったそうです。

口演 活動内容



韓国文化, 韓国語を紹介する

みなさん、おばあちゃんがしたおはなしをよくききましたか？

カワウソはチェジュとうをたびだつて、こんごうざんにいき、よいけしきをくまなく(トゥルドウル)けんぶつしました。しかし、こわいトラをみましたね。そのとき、カワウソはわるぢえをだして、トラをたべるぞとやまががんがん(チョロンチョロン)とひびくほどおおごえでさけびました。‘トゥルドウル(くまなく)’は、まんべんなくすることで、‘チョロンチョロン(がんがん)’は、こえがとてもおおきくて、ひびくおとやそのようすをひょうげんしたことばです。

みなさんはやまにいったことがありますか？カワウソはどこのやまにいきましたか？

はい、カワウソはハンラさんもいって、こんごうざんにもいきましたね。ハンラさんは、だいかんみんこくでいちばんたかいやまで、チェジュとうにあります。しかし、7ねんのあいだ、ひでりにはいったため、たべるものがなくなってハンラさんにすめなくなったそうです。それで、こうげんどうにあるこんごうざんへいきました。いちまんにせんこのみねでゆうめいなこんごうざんは、けしきがほんとうによくて、カワウソはあのみね、このみねにあがって、こうふんしてけんぶつしたそうです。みなさんもハンラさんとこんごうざんのうつくしいけしきがきになりますね？‘どらんどらん お話ホームページ’でくわしいないようをしらべてみてね！

口演 活動内容



お話を整理する

みなさん、おばあちゃんと“こんごうざんのけんぶつにいったカワウソ”のおはなしをいちどまとめてみましょうか？

こんごうざんをけんぶつしていたカワウソは、トラをみてもにげませんでした。むしろ、どきょうがあるかどうかとんちのあることばづかいで、トラをおいやりしました。こわがるトラをなだめるために、トラとしっぽをむすんだうさぎは、トラがこわがってにげてしまったので、しっぽがおちてしまいました。だから、うさぎのしっぽはよりみじかくて、トラのしっぽはいまのように、ながくなったというおはなしでした。



お話のあとのうたをうたう

そしたら、お話のおわりのうたをいっしょにうたいながら、おばあちゃんとあいさつします。お話のおわりのうた、はじまり！

🎵 いち にい さん し！お話のはじまり！ わたしたちみんなが たのしく、よくきいてみましょう。 みみはピンと、めはきらっと、じゅんびはできましたか？
いち にい さん し！ しゅっぱつします。パンパン～



ごあいさつ

おへそにお手てをあてて、ごあいさつ！

みなさん、つぎのうつくしいお話のおばあちゃんであいましょう。
さようなら！